

都道府県名：福岡県

【経営の概要】

- ・ 作物名 ブドウ（品種：デラウエア）
- ・ 栽培体系 1月加温施設栽培  
（注：ブドウ（巨峰）の1月加温施設栽培農家対象）

【対策の内容】

（1）内容

開花期に高温を必要とする品種「巨峰」から、低温でも結実が安定している品種「デラウエア」への更新

（2）メリット

- ① 開花期の最低温度設定を 18℃から 11℃に下げられるため、重油使用量を削減できる。
- ② デラウエアは花穂の着生が良好で、ジベレリン処理により安定的に結実させることができるため収量の安定化が図られる。

【対策の実践効果】

- ・ 5月中下旬出荷に向けた1月加温開始の作型で、従来の「巨峰」と比較して 55%の経費削減効果が見込まれる。
- ・ 品種更新による連年の収量安定が期待できる。

	取組前（A）	取組後（B）	B/A
燃料の種類と使用量	A 重油：12,000L/10a	A 重油：5,000L/10a	42%
加温に係る燃料経費①	1,440 千円/10a	600 千円/10a	
対策に係る追加費用②	—	50 千円/10a (苗木代)	
①+②	1,440 千円/10a	650 千円/10a	45%

【今後の課題】

- ・ 品種更新により販売単価の面で不利にならないような販売体系の確立が必要。
- ・ 開花期の高温を必要としない大粒系で高品質な品種の開発。

【問い合わせ先】

福岡県農林水産部経営技術支援課

電話：092-643-3493